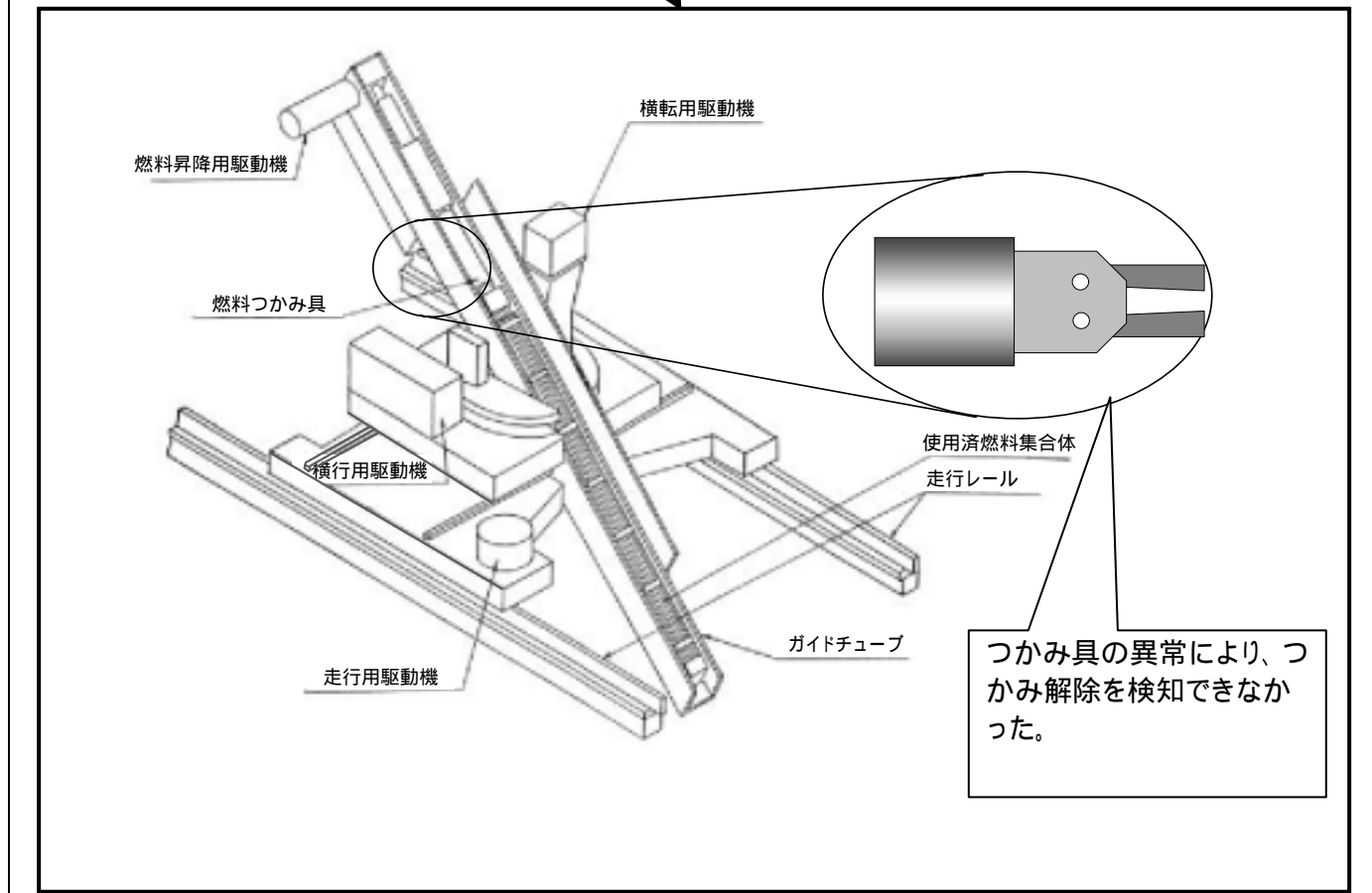
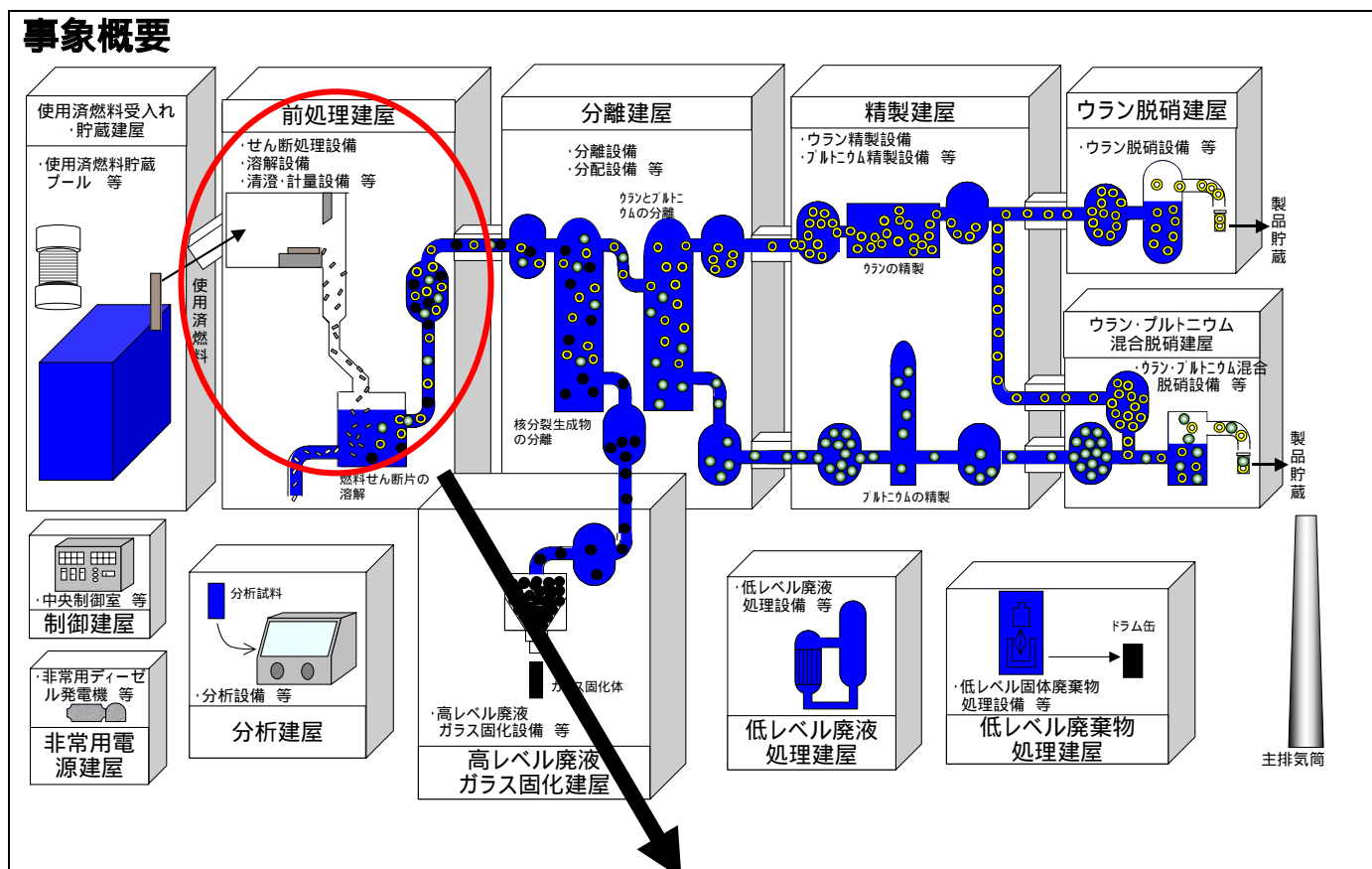


再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No. 4 - 9)

| | |
|----------------|--|
| 件名 | 燃料横転クレーン 燃料つかみ具の燃料つかみ解除検知不具合 |
| 事象の概要 | <p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: 燃料横転クレーン</p> <p>(2) 発生の状況 燃料横転クレーンの運転中</p> <p>(3) 概要 せん断機燃料装荷時において燃料つかみ解除状態を検知できなかったため、次のステップへの進行が許可されない状態となり、復旧措置を行うため、燃料をバスケットに戻す作業を実施</p> |
| 事象による影響 | <p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋建屋換気設備が接続するセル内に設置された燃料供給設備での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 燃料つかみ解除状態を検知できなければせん断機に装荷出来ず、次のステップへは進めないため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 本事象の復旧作業はセル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 下流の工程の運転に影響が生じる。 せん断が停止することにより、前処理建屋内の溶解槽以降の工程の運転に一時的に支障をきたすが、さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p> |
| 対応の概要 | <p>(1) 燃料つかみ具が燃料をつかんでいることを確認後、燃料をバスケットに戻す。</p> <p>(2) 原因を調査後、必要に応じて燃料つかみ具のつかみ部位駆動用モータおよび燃料検知用センサーの交換をする。</p> <p>(3) 定められた操作手順に従って運転を再開する。</p> |



| | | |
|-------------|--------------------|-------------------------|
| 公表区分 | 翌平日に公表(ホームページへ掲載) | |
| 対応区分 | (a) 運転継続しながら復旧 | 国際評価尺度 (INES) のレベル: 0以下 |
| | (b) 運転システムを切り替えて復旧 | 国際評価尺度 (INES) のレベル: 1 |
| | (c) 当該機器を停止して復旧 | 国際評価尺度 (INES) のレベル: 2 |
| | (d) 当該設備を停止して復旧 | 国際評価尺度 (INES) のレベル: 3 |
| | (e) 影響範囲の設備を停止 | 国際評価尺度 (INES) のレベル: 4 |

